



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2016-2017年度 第46週報 No. 1982 2017年(平成29年) 6月23日 第1982回 例会記録 6月30日発行

### 本日〈6月30日〉のプログラム

### 年度末夜間例会

〈〈本日のBGM〉〉  
アルバム「My Romance Vol.2」より



PHOTO 加野亮一 会員

**司 会** 白鳥 厚夫 副幹事

**点 鐘** 植田 清司 会長

**斉 唱** 「手に手つないで」  
ソングリーダー 河野 明光 会員

**四つのテスト** 横溝 亘 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

#### ゲスト紹介

樋口 明 様 (第2590地区第4 Gガバナー補佐)  
武笠 基和 様 (神奈川県消防署 署長)  
中野 毅 様 (神奈川県消防署 庶務係長)  
阿部 高也 様 (神奈川県消防署)

#### 特別行事

◎神奈川県消防署感謝状授与式



#### 2016-2017年度 RI会長 ジョン F. ジャーム



#### 第2590地区 ガバナー 高良 明

会 長	植田 清司	会 計	白井 康夫
会長エレクト	矢野 修二	副 会 計	河野 明光
副 会 長	西山 潔	S A A	田中 龍太郎
副 会 長	伊東 英紀	副 S A A	茂木 知子
幹 事	小山市 康	副 S A A	吉田 隆男
副 幹 事	白鳥 厚夫	クラブ会報	加野 亮一

**例会日** 毎週金曜日 0:30~1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)  
**例会場** ホテルキャメロットジャパン  
**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>  
**E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

**事務局** ホテルキャメロットジャパン内  
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555  
**創立記念日** 昭和 51年 5月 29日

◎第4グループ ガバナー補佐 年度末のご挨拶



樋口 明 ガバナー補佐 (神奈川RC)

結婚記念日祝

伊東 英紀 会員 (6月24日)



幹事報告

小山 市康 幹事

- ・本日、例会終了後にクラブ協議会を開催致します。出席義務者の方はご出席の程よろしくお願い致します。
- ・次週6月30日は今年度最後の年度末夜間例会となります。

出席報告

但野真実子 出席委員長

会員総数	52名	(32+20)名	
出席会員数	39名	(25+14)名	
出席率	84.78%		
ゲスト	4名	ビジター	0名
前回補正後	91.30%	前々回補正後	89.13%

スマイルボックス

茂木 知子 副SAA

第2590地区第4Gガバナー補佐 樋口 明様 (神奈川RC)  
 本日はお世話になります。今年度一年間、植田会長、小山幹事をはじめ、貴クラブの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

伊東英紀君 結婚祝い、ありがとうございます。

植田清司君 ①樋口明ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。今年一年間、大変お世話になりました。②本年度、理事役員の皆様・各委員長の皆様・会員の皆様、一年間本当にありがとうございました。

月山 勇君 植田会長、小山幹事、一年間お疲れ様でした。年末調整は来週も受け付けるそうですが・・・

飯田泰之君 ①植田会長、小山幹事、ご苦勞様でした。空白の時、ご用心。②矢野エレクト、白鳥副幹事、いよいよですね。

山本 登君 阪神まだまだ実力を出していません。

小山市康君 樋口ガバナー補佐、大変お世話になりました。最初から最後まで熱意に圧倒されました。

澁谷高弘君 理事・役員の皆様、一年間ありがとうございました。

矢野修二君 次年度よろしくお願い致します。

渡邊 淳君 ①年度末にあたり、感謝を込めて。②先日の第6回戦略計画委員会出席の皆様、お蔭様で楽しく一年間の締めくくりが出来ました。③いつもニコニコ、もっとスマイル。年度末最後までスマイルにご協力よろしくお願いします。

角田伯雄君 武笠署長、本日はありがとうございます。

天野公史君 植田会長、小山幹事、一年間ありがとうございました。次週は楽しく飲むだけです！樋口ガバナー補佐、お疲れ様でした。

白鳥厚夫君 樋口ガバナー補佐、お世話になります。ごゆるりとお過ごし下さい。

金森欣一君 植田会長、小山幹事、本日が最後の通常例会ですね。一年間ご苦勞様でした。

加野亮一君 微力ながらニコニコ協力致します。

白井康夫君 2016年度は何かとご迷惑をお掛け致しまして、申し訳ございませんでした。2017年度もご迷惑をお掛けするかもしれませんがよろしくお願い致します。

茂木知子さん ~あんなではない~某女性議員の暴言の録音を聞いて「いくら怒っても私はあんなではない」と私が言うと、夫は「大して変わりはない」と言いました。ICレコーダーで録音されないように。

6月23日	17件	107,000円
本年度累計		2,035,760円

年度末挨拶

◆会長 植田 清司

年度末にあたりご挨拶申し上げます。

私の好きな言葉として、『熱意・誠実そして寛容』というテーマで一年間自分なりにやってみて参りました。至らない点多々あったかと思いますが、皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。



8月2日の横浜港での花火大会を『屋形船で観賞する会』では、親睦活動委員会の皆様にもご協力頂き、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。親睦活動委員会にはクラブ内の活性化を図るため、さまざまな活動をして頂きました。8月6日には『親睦活動委員会』主催の納涼会をみなとみらいの日本丸の前のテラスガーデンで開催され、多くの会員が参加されました。神奈川県民まつり、年末の年忘れ家族会、神奈川クラブとの合同賀詞交歓会や春の家族会など、楽しいクラブにするために多くの行事に関わって頂きました。佐藤親睦活動委員長は公私に忙しい中、一年間ありがとうございました。

本年度、青柳さん、月山さん、石川さん、河野さんをはじめ、多くの皆さまが『川柳同好会』を起ち上げられ、18名を超えるメンバーが、思い思いの川柳を詠み、披露して楽しい会が持たれました。これには河野さんのプロデュースがこの会をより楽しくしてくれました。この同好会の発足については、雑誌委員会のメンバーが、ロータリーの友に投稿しようという一声からスタートしているのかなと思います。田口雑誌委員長、大変ご苦労さまでした。それが広がり1月20日に開催された神奈川クラブとの合同賀詞交歓会で双方のクラブより川柳の詠みくらべ大会が行われ、賀詞交歓会がおおいに盛り上がりしました。

金森プログラム委員長につきましては、卓話の手配、講師の選定等いろいろお骨折りを頂きましてありがとうございました。

2月には、ロータリー財団100周年チャリティーマラソン大会、白鳥監督率いる『神奈川東チーム』混成チーム優勝、おめでとうございます。また次年度もあるそうですので、今年の選手のほかに、日頃体を鍛えている会員の皆さん、奮って参加してください。連覇を期待しています。

神奈川県民まつりでは、スリランカへの井戸募金に、朝日さんをはじめ多くの品物をご提供頂きました会員の皆様ありがとうございました。今年、井戸2本、トイレ2基をスリランカへ贈ることが出来ました。おかげさまで、クラブと会員個人のもの合わせると、累計99本となりました。山本芳弘社会奉仕委員長、友添国際奉仕委員長、佐藤親睦活動委員長、ご協力ありがとうございました。

今年度、スリランカへの訪問・台北滬尾ロータリークラブへの公式訪問と、友添国際奉仕委員長には大変お骨折り頂きました。ご苦労様でした。それと、特に評価したいのは、井戸の奉仕事業について、地区補助金制度を利用することについて、友添委員長の大きな努力が実って、利用できることになりました。

また、4月には月山さん、河野さんたちの計らいで『ご長寿を祝う会』が開催され米寿・喜寿・傘寿を迎えられた長寿会員のお祝いを致しました。今までの先輩会員のご苦労をねぎらうことが出来ました。楽しく和やかな会でした。

渡邊戦略計画委員長には、積極的に委員会を推進して頂き、委員会提言として、理事会に提言されました。ご苦労様でした。今後の我がクラブの方向性が見えてくるものと期待しています。

今年度、加藤会員増強委員長はじめ、会員増強にご協力頂きました皆さま、ありがとうございました。

職業分類・会員選考委員会の澁谷委員長、大変ありがとうございました。本人の都合で、次年度に持ち越される新会員ももらわれますが、焦らず着実に会員増強ができればと思います。

事務局の田中さんには、至らない私をサポートして頂き、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、この一年間皆様の温かいご支援ご協力に改めて感謝して私の年度末挨拶と致します。

一年間本当にありがとうございました。

#### ◆副会長 西山 潔



本年度植田会長の下、副会長を拝命致しました西山 潔です。この1年間を振り返りますと、私の本職と関わりました神奈川県歯科医師会会長としての出勤がかなりあり、植田会長をはじめとしまして会員の皆様方に、大変ご迷惑をお掛け致しました。心中よりお詫び申し上げます。

前年度40周年の節目の年を迎え、無事創立40周年式典、祝賀会が挙行され大盛況の中、成功裡に終了されました。本年度は次に向けての新たな始まりの年と捉えておりました。

本年度R I会長のテーマは「人類に奉仕するロータリー」であります。人類への奉仕はロータリーの基本であります。そのことを再認識することは大変有意義であると思います。まさに原点に帰ると言うことは新たな出発の始まりであります。新たな始まりとなる当クラブ41周年目のテーマには持って来いであると確信しておりました。人類に奉仕の目的の為に我々が集まった大きな理由がこのテーマにあります。これこそがロータリーの真髄であると言うべきテーマであると考えました。このテーマを実践するにあたり植田会長は「熱意・誠実そして寛容」という会長の座右の銘ともいうべき言葉で、クラブの奉仕活動を活性化させ、クラブを一つにまとめるように方針を打ち出

されました。副会長と致しまして、このR I会長テーマと植田会長のお言葉を大事にし、会長の補佐とクラブ奉仕委員会の委員長としまして、クラブの活性化に向けて取り組みましたが志し半ば、やり残した部分が多々ある感じは払拭できません。今年度、副会長という立場でありながらその職責を十分に果たせなかったこと、反省致しております。

最後になりましたが、会員の皆様には本年度1年間の御指導、御協力、御理解に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

#### ◆副会長 伊東 英紀



早いもので、植田、小山年度も来週の夜間例会を残すのみとなりました。

2016～2017年度R I会長テーマ「人類に奉仕するロータリー」のもと、当クラブ植田会長の「熱意・誠実そして寛容」の精神でスタート致しました。我がクラブ会長・幹事のお人柄と地道な行動によりスムーズに一年間経過したのではないかと思います。副会長として職務を果たせたかどうかわかりませんが、会員皆様のご協力に感謝申し上げ、年度末の挨拶とさせていただきます。

#### ◆幹事 小山 市康



今年度も来週の夜間例会をもちまして終了となります。前年が創立40周年という大きな節目でした。50年に向け幕開けの年度として第一歩を踏み出しましたが、早くも今年度が終わろう

としています。

植田会長はクラブ活動計画の中で「熱意・誠実そして寛容」をスローガンとして掲げられ、実活動においても柔軟に対応してくださり植田会長には助けられました。何とか一年を締め括れそうです。これもひとえに理事・役員・委員長の方々が役割や活動計画を遂行して頂いたことと心から感謝申し上げます。

さて、この一年を振り返ってみます。早速7月1日例会での新年度挨拶が始まり意気込みを感じました。

最初に当クラブの主だった行事を中心にお話させていただきます。まずは会員間が潤滑となる親睦関係です。

8月2日「屋形船で花火を観る会」と、8月6日「親睦活動委員会主催納涼会」で暑さを吹き飛ばし夕涼みを楽しみました。9月8日「直前会長幹事慰労会」では一年間の感謝が伝えられ、11月10日には「創立40周年記念事業打上げ」がなされ、前年度の周年事業すべてが完結されました。12月23日に恒例の「年忘れ家族会」があり、1月20日は当クラブが幹事役となり「神奈川・神奈川東RC合同賀詞交歓会」が開催されました。年末・年始の笑いを誘い、大いに楽しませて頂き、より一層の懇親を深めることができました。「R財団100周年記念事業チャリティーマラソン」でみごと優勝し、2月11日と13日にその祝杯を挙げました。3月16日に米山奨学生の「ガンスフ・ゲレルさんの送別会」を行い、4月7日「米寿・傘寿を祝う会」ではクラブに大きく貢献された長寿会員方々のお祝いを行い、5月18日の「新会員歓迎会」では、大久保会員、横浜会員の両会員から入会の意気込みをお聞きしました。そして5月28日の「春の家族会」では大勢の参加となり、晴天の都心で家族間の懇親を深めました。残るは6月30日の「年度末夜間例会」のみとなりました。

続いて奉仕活動関係です。スリランカに関し、7月25日に懇意にしている議員他の井戸関係者が来日し、歓迎会を横浜駅東口の『梅の花』にて開催しました。10月9日には恒例の反町公園の区民まつりに参加し、「1年に1日は皆で汗を流そう」を合言葉に、継続事業のスリランカ支援を行いました。商品をご提供くださった朝日会員はじめ、たくさんの方々のご協力有難うございました。OWOPの鈴木会長や京都からの学生さん達の支援を受けて、井戸2本とトイレ2基を寄贈することができました。3月18日に会員有志により「スリランカ井戸視察訪問」を行いました。そしてR財団「地区補助金」の申請をし、対象プロジェクトに認定されたことは朗報です。次年度が楽しみです。また、今年度も12月22日に快く活動をされているフェリス女学院から英訳絵本をお預かりして参りました。優良職場訪問が11月18日に行われました。先ず鶴見資源化センターを訪れ、分別の流れを見学し、資源の有効利用や自然環境への配慮そして廃棄物の処理能力の限界などを実感しました。その後東京ガス(横浜テクノステーション)を訪問、エネルギーの最先端技術を見ることができました。大変有意義な一日でした。1月29日に当クラブの創立40周年記念事業で支援した「B-SKY FES」が神奈川公会堂で行われ、前年同様に神奈川区と共催し、ダンスやバンド演奏など、青少年のパフォーマンスのパワーを感じ取ってきました。そして、台北滬尾RCが来日されることになり、2月24日を夜間例会に変更し歓迎会を行いました。

## 第3回クラブ協議会開催

6月23日（金）例会終了後、今年度最後の第3回クラブ協議会が開催され、各委員長より一年間の苦労話や成果について報告がなされました。



## クラブ会員の広場

ロータリー国際大会2017 米国アトランタ報告

会長エレクト 矢野 修二

私はまずシカゴのオヘア国際空港につき、北東へ約20kmミシガン湖畔に建つR I本部に伺いました。威風堂々とした22階建てのエバンストンの象徴的なビルディングでした。その最上階の東南の角地に約100㎡程のR I会長の専用室があり、同じフロアーに各々会長エレクト、財団委員長、一般職員の専用室が置かれ、また18カ国語を同時通訳出来る特別室があります。当ビルでは約1000名の人々が働きその約半分がロータリー関係者です。日本人も働いていました。

エバンストンから西へ約15km、人口250万人全米第3の大都会シカゴへ。私はシカゴは4回目です。1、2回目はビジネス、3回目はロータリー100年、当クラブの会員ご夫婦数名で行って参りました。そして今回4回目ですがシカゴの大地に足を踏み入れたことは、それなりに意義があったと思います。

そしてシカゴから空路2時間、南部アメリカを代表する大都市アトランタへ。シカゴ～アトランタ時差1時間、アトランタは南北戦争や「風とともに去りぬ」の舞台として知られています。アトランタは古き良き時代の香りをとどめながら、南部一の国際都市です。1996年オリンピック開催都市としても注目を集めました。アトランタロータリー国際大会は第108回となります。

国際大会の細かい内容は次年度卓話にてお話しさせていただきます。

続いて4月18日には、年度予定通り「台北滬尾RC公式訪問」し、熱烈な歓迎を受けました。6月9日に神奈川県消防署へ予定より要望されていた芳名額の贈呈式に行き参りました。

次に地区に関連する行事等です。8月19日の樋口ガバナー補佐公式訪問のクラブ協議会と9月2日の高良ガバナー公式訪問の例会終了後の懇談会において、多方面の意見交換がなされ会員皆様の熱意を感じ取りました。また、例年通り地区大会が11月11～12日にパシフィコ横浜会議センターにて開催されました。そしてR財団100周年記念事業として、2月11日に「チャリティーマラソン」が臨港パークで、4月22日には「ロータリー経営大講演会」（IM統合）が県民ホールで開催されました。特に「チャリティーマラソン」に於きましては、当クラブが混成チーム優勝という素晴らしい成果を収めることができました。青柳会員には賞品のご提供を頂き、また河野会員には祝賀会のご配慮を頂き有難うございました。2月18～19日にRYLAが野島青少年研修センターで行われ、佐藤会員の社員の方々と青少年交換学生だった小幡さんが参加されました。参加した感想を卓話で発表されたことは印象的でした。

最後になりましたが、力不足な幹事でしたが職務を全うできたことは、会員の皆様方のご理解とご協力を頂いたからであり心から感謝申し上げます。そして手際よい事務局の田中さんの力をお借りし連携できたからでもあります。

皆様この一年間本当に有難うございました。

### ◆会計 白井 康夫



2016年度も年度末を迎えました。会計収支に関して言えば、おおむね当初の予算通り推移しているといえると思います。とはいえ、一般会計の収支についてはやや改善の余地があるかもしれません。半期の挨拶のときに申し上げたように経費の削減の余地につきましては、いまだ検討中のところであり、来年度への持ち越しになると思われます。引き続き収支バランスの改善点の発見に努めたいと思います。

今年度新入会員も増加しており、会費収入の増加による効果は大きいものがあるといえると思います。会員の皆様引き続き今後とも会員の増強の方もよろしくお願い致します。

来年度も引き続き会計を担当する予定であります。今年度のご理解とご協力に深く感謝を申し上げますとともに、来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



エバンストンにあるR I 本部



初代R I 事務所（ポール・ハリス）



箕田氏と私



本部1階ロビー



R I 会長室から見たエバンストン市内。更にはミシガン湖を眺望できます



箕田敏彦パストガバナー（横浜ロータリークラブ）



奥の方はシカゴ市内



R I 会長受付



シカゴ市内



ロータリー 100 年記念の鐘



宙に浮いています



R I 会長室



アトランタ会場



シカゴトランプインターナショナルタワー



ジョン・ジャーム R I 会長



ガバナーナイトが行われたウェスティンホテル



2590 地区ガバナーナイト場

1,000gに満たないでしょう。問題はもう一つ。病院の新生児集中治療室には保育器が7台しかなく、満員になると赤ちゃんを別の病院に搬送する必要があります。命をつなぎとめたとしても、両親は数カ月も長距離の病院通いを余儀なくされます。

ブラジル・リベイラバレーの病院 (Dr. Leopoldo Bevilacqua Regional Hospital) でも、多くの妊婦が同じような困難に直面しています。設備が不足すると、すでに危険な状態にある新生児をほかの病院に搬送しなければなりません。この影響は、サンパウロ州の高い乳児死亡率に表れています。

「ここには2つの現実があります。私立病院の費用を払える人と、払えない人です。払えない人は、24もの町をカバーしている州立病院まで長距離を往復しなければなりません」

Registro-Ouroロータリークラブ (ブラジル) のプロジェクトを主導したりナ・シミズさんは、このように話します。

そこでクラブは、岐阜県中津川の2つのロータリークラブとパートナーとなり、グローバル補助金プロジェクトを実施しました。ロータリアンは172,500ドル (約1,900万円) を集め、新生児の集中治療室に保育器5台を追加。これにより、それまでの倍近い新生児の受け入れができるようになりました。2013年には新生児129名、プロジェクト完了後も毎年、新生児約220名の命を救っています。

また、換気装置5台、ビリルビン測定装置1台、ベビーベッド3台、血圧・心拍数モニター5台、新生児黄疸光線治療器1台も設置したほか、住民を対象に出産前ケアのワークショップの推進にも貢献しました。この活動は、医療サービスや出産前ケア・母乳の重要性についてあまり知らなかった遠隔地の妊婦にとって、大きな支えとなりました

中津川のロータリアンは以前、補助金で困難を経験したことから国際活動の支援を断念していましたが、今回の経験が大きな転機となりました。この変化を導いたのは、レジストロ市と中津川市の「姉妹都市」提携です。

「これは当初、ブラジルの別のクラブのプロジェクトだったのですが、資金パートナーを探すだけで5年も要していました」とシミズさん。

「私たちは3年で実行できました」

双方のロータリアンは、定期的交流して友好を深めてきました。だからこそ日本のロータリアンも、自分たちの資金が有効に使われると確信できたのでしょう。日系人で日本語を流暢に話せるシミズさんの存在も、信頼関係とコミュニケーションの構築に大きく寄与しました。

ここには37年かけた友情と絆がある。中津川ロータリークラブの原満夫さんは、そう述べました。

## ロータリーニュース

### 日本の姉妹都市との絆、ブラジルの新生児を救う

陣痛がはじまり、妊婦はおびえています。予定日は3カ月も先。一番近い病院は48kmも離れており、生まれても体重は

次回〈7月7日〉の予定

新年度挨拶

会長、副会長、会長エレクト、幹事、会計